



株式会社インフォメーション・ディベロプメント 2006年3月期中間決算説明会

2005.11.15



1. 2006年3月期中間決算のご説明
2. 中長期的な方向性について
3. ご参考資料



2006年3月期中間決算のご説明



- 売上高は上期過去最高の62.8億円
(前年同期比19.7%増)

- 営業利益率は6.4%(前年同期比4.6ポイント改善)
- 人材稼働率の大幅な上昇

- 老朽社宅の減損で、
特別損失2.3億円を計上(将来への対応)

- 有利子負債の削減

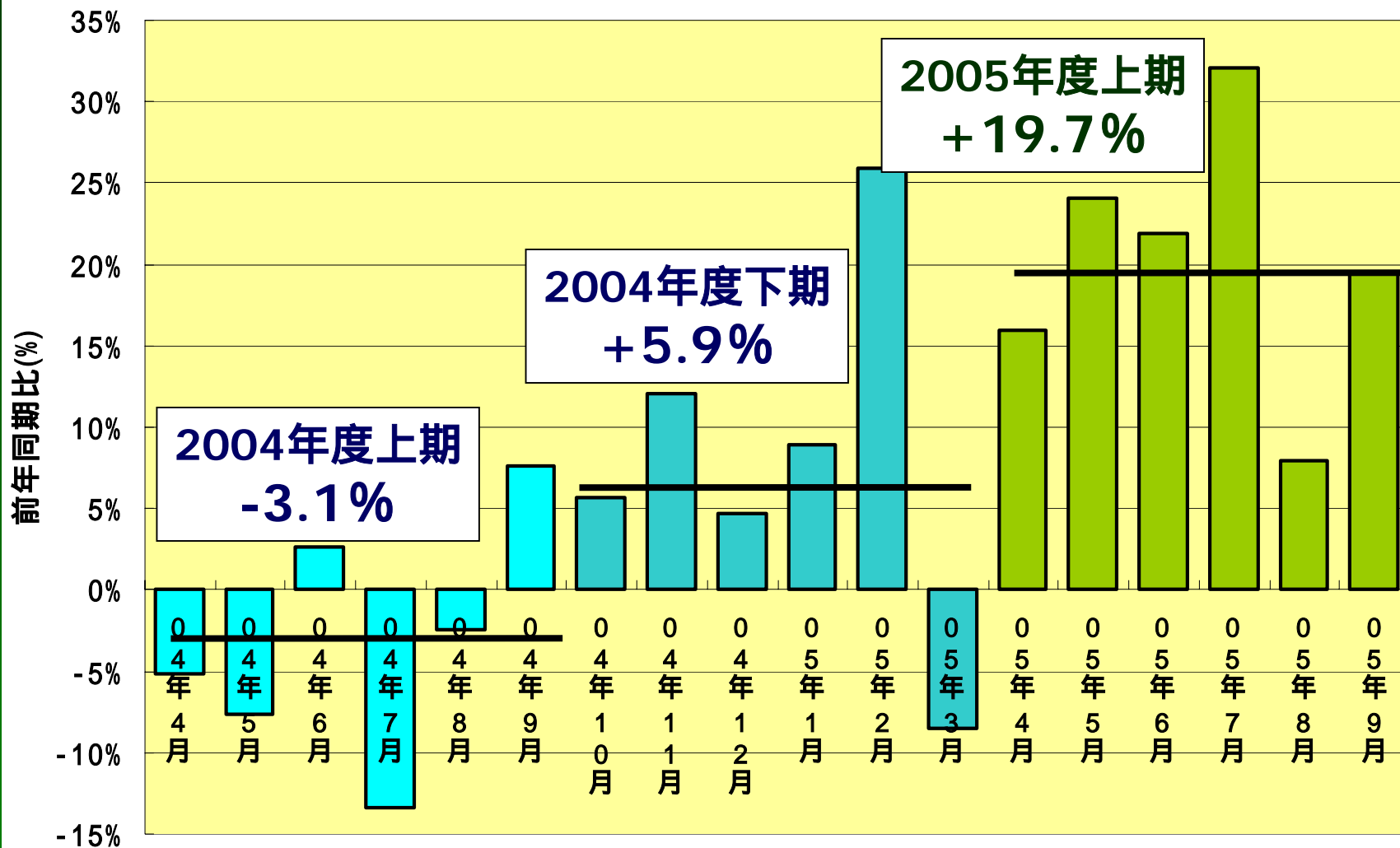
- 社員数は1,673人(前年同期より6.1%増)
- 人材強化が成長の鍵

2006年3月期中間決算 連結損益計算書

(単位:百万円)	2004年度 中間期	2005年度 中間期	増減比	期初予想
売上高	5,249	6,284	+19.7%	5,790
営業利益	96	403	+316 .4%	190
営業利益率	1.8%	6.4%	+4.6ポイント	3.3%
経常利益	97	394	+304 .7%	180
当期純利益	52	89	+69.8%	90
一株当たり 当期純利益(円)	8.9	15.1	+70.0%	15.1

- 売上高、営業利益ともに期初予想を達成
- 全ての事業が増収
- 特にITO(ITアウトソーシング)事業とSI(システムインテグレーション)事業が貢献
- 営業利益率の改善の主因は人員の稼働率上昇。外注単価上昇を吸収
- 老朽社宅の減損として、特別損失を2.3億円計上

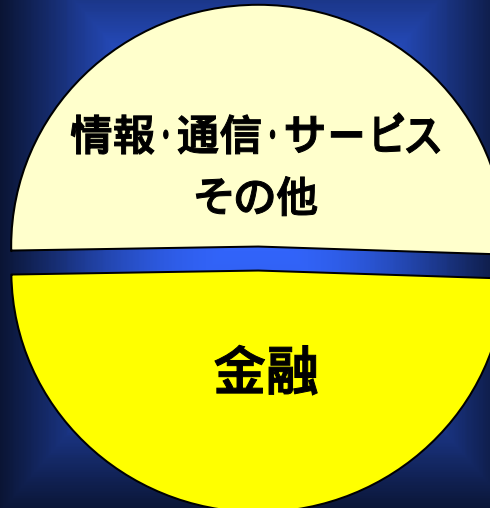
月次売上高(単体ベース)の推移



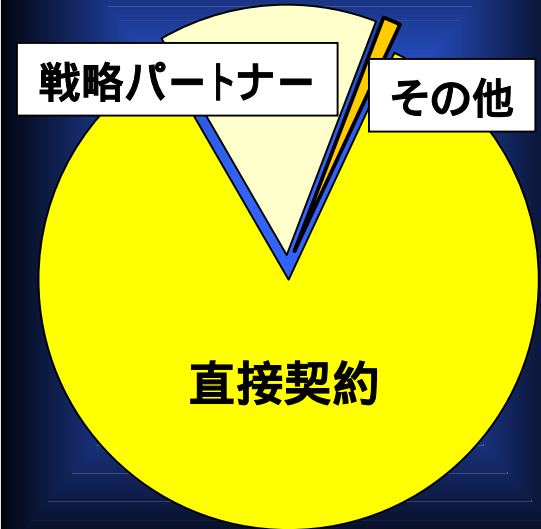
業務内容



顧客業務



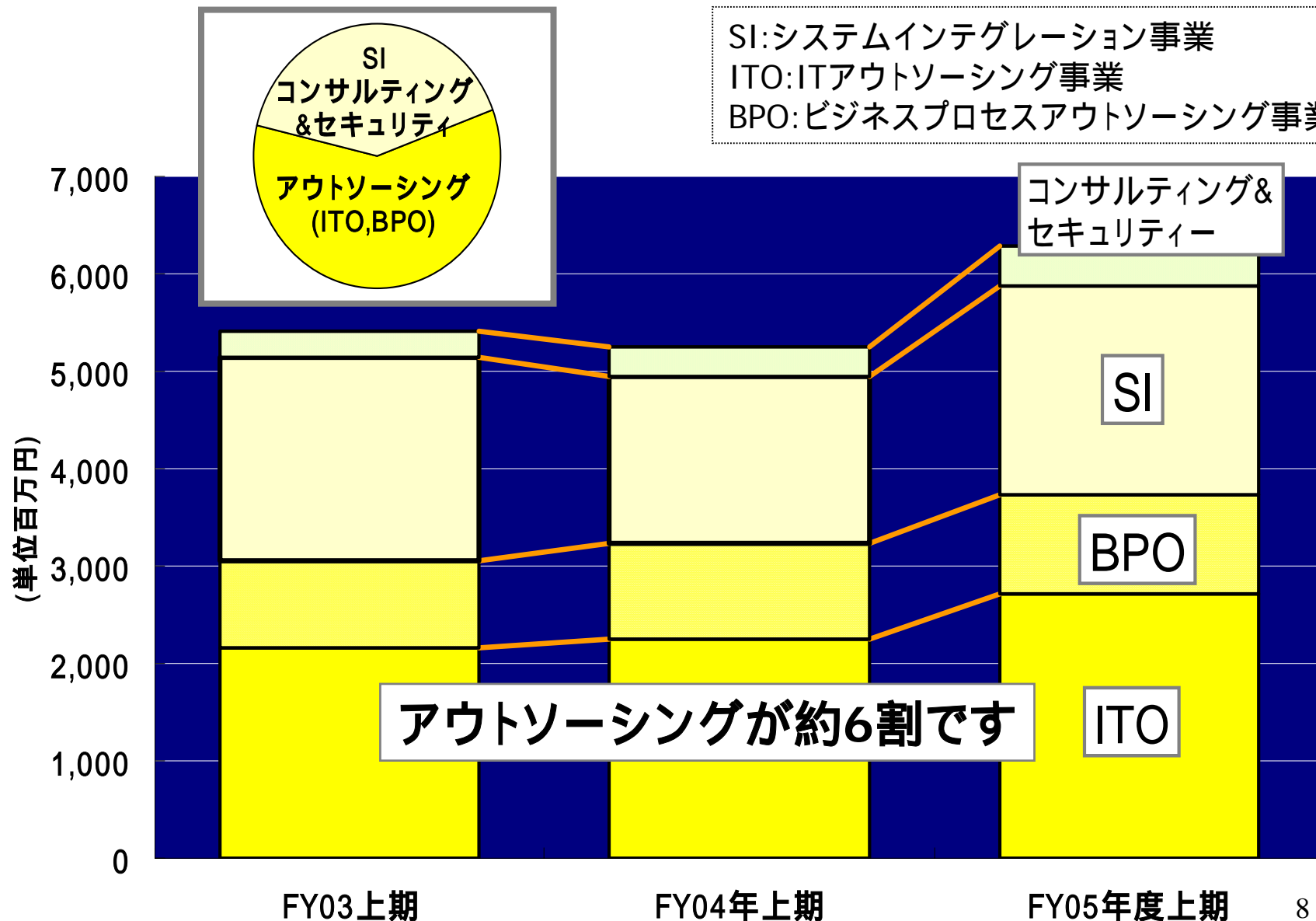
契約形態



- アウトソーシング: 約60%
- 金融: 約50%
- 直接契約: 約85%

事業の状況(売上高)

SI:システムインテグレーション事業
ITO:ITアウトソーシング事業
BPO:ビジネスプロセスアウトソーシング事業



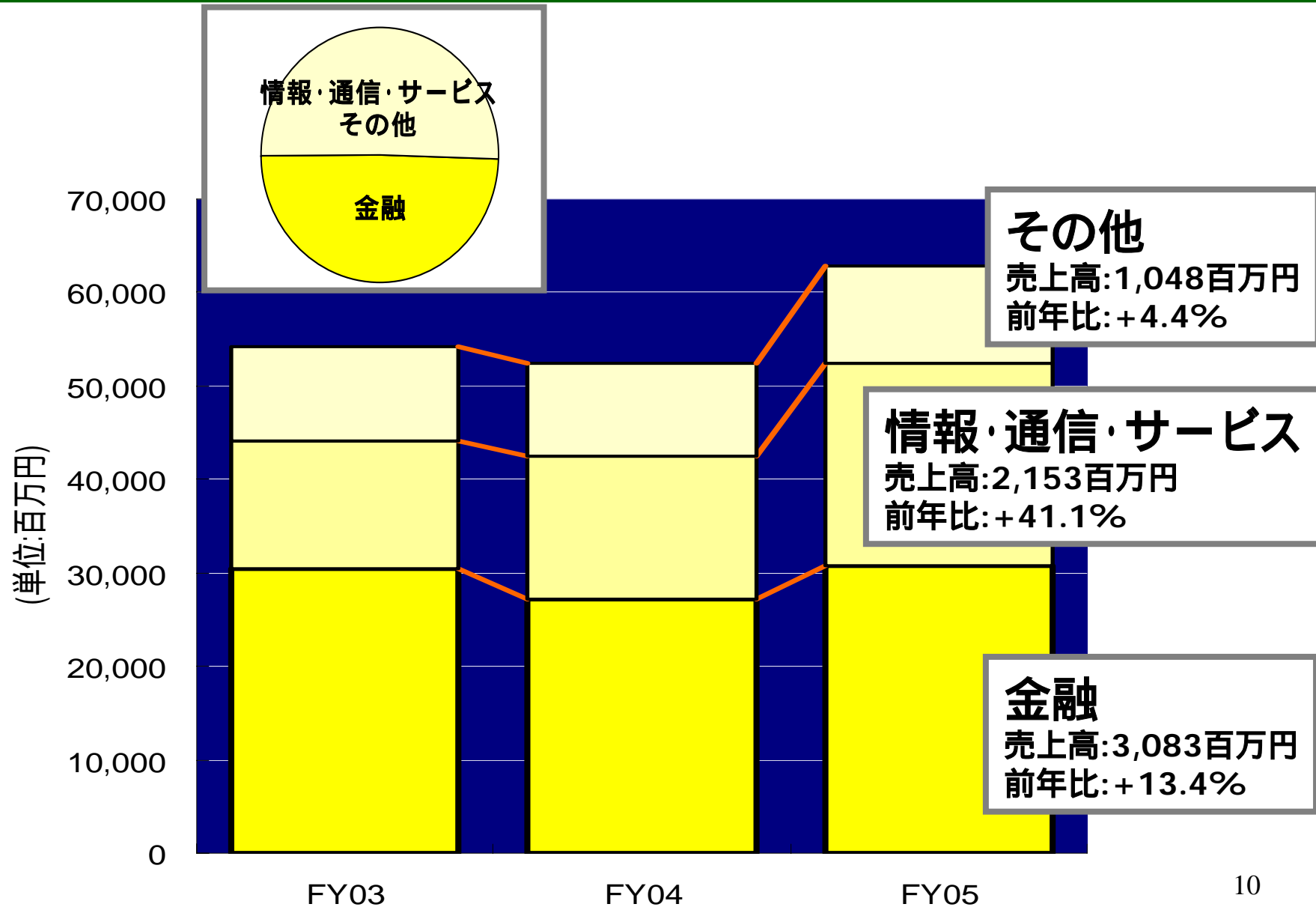
2006年3月期中間決算 事業別の売上高

(単位:百万円)	2004年度中間期		2005年度中間期		増減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
SI	1,719	32.7%	2,147	34.2%	+24.9%	+1.5ポイント
ITO	2,257	43.0%	2,708	43.1%	+20.0%	+0.1ポイント
BPO	967	18.4%	1,017	16.2%	+5.2%	-2.2ポイント
コンサルティング &セキュリティ	306	5.8%	411	6.6%	+34.3%	+0.8ポイント

<主な増減要因>

- SIは顧客(金融、公益企業など)の業績好調により、IT投資に対する需要が回復
- ITOは大口顧客(保険関係)の獲得が貢献
- BPOは事務代行ビジネスが伸長
- コンサルティング&セキュリティはセキュリティ業務等が比較的好調

顧客の状況(売上高)



2006年3月期中間決算 連結貸借対照表と連結キャッシュフロー計算書

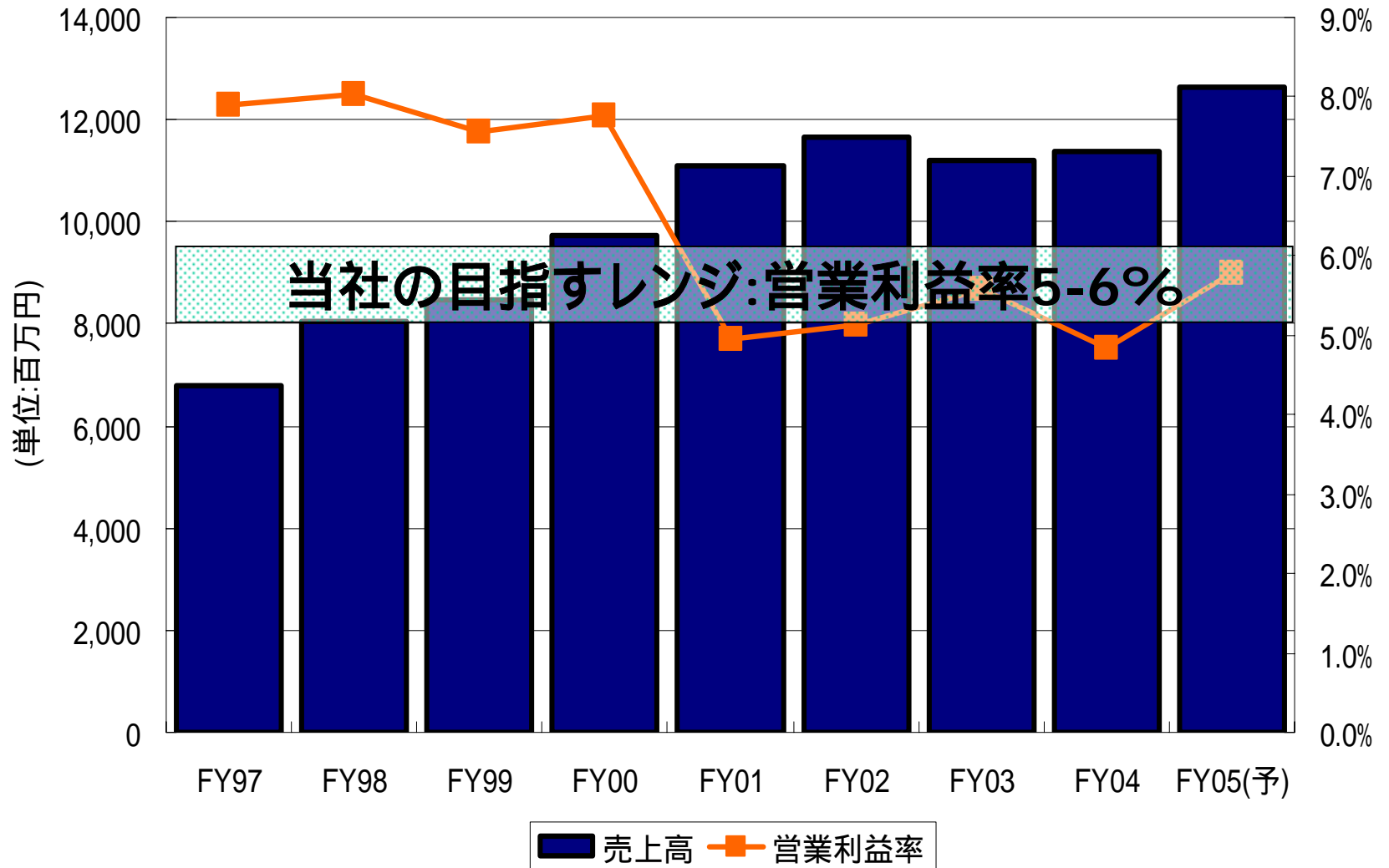
(単位:百万円)	2004年度 中間期	2005年度 中間期	増減	概況
流動資産	3,024	3,107	83	<ul style="list-style-type: none"> •営業キャッシュフローが改善 •有利子負債を削減 •キャッシュ残高は870百万円です。今後の投資に活用 •老朽社宅の減損で有形固定資産は171百万円減 •株主資本比率は60.5%で、財務体質は安定
固定資産	4,260	4,218	-42	
総資産	7,284	7,325	41	
負債	2,824	2,767	-57	
有利子負債	987	337	-650	
株主資本	4,341	4,433	92	
営業によるCF	245	382	137	
減価償却費	76	79	3	
投資によるCF	-96	-42	54	
設備投資	-17	-23	-6	
財務によるCF	-317	-687	-370	
現金同等物の増減	-169	-346	-177	
現金同等物の残高	1,171	870	-301	

2006年3月期 業績予想

(単位:百万円)	2004年度 実績	2005年度予想 2005年9月9日修正		期初予想	
	金額	金額	前期比	金額	前期比
売上高	11,378	12,630	+11.0%	12,300	+8.1%
営業利益	550	730	+32.7%	610	+10.9%
営業利益率	4.8%	5.8%	+1.0ポイント	5.0%	+1.1ポイント
経常利益	557	720	+29.2%	600	+7.7%
当期純利益	119	270	+125.4%	310	+160.5%
一株当たり 当期純利益(円)	17.8	43.2	141.8%	49.9	180.3%

- 主要顧客のIT投資は引き続き回復傾向
- アウトソーシングは安定成長の見通し
- 技術者のフル稼働で、営業利益率は引き続き安定し、5.8%の見込み

売上高、営業利益率の推移(通期ベース)

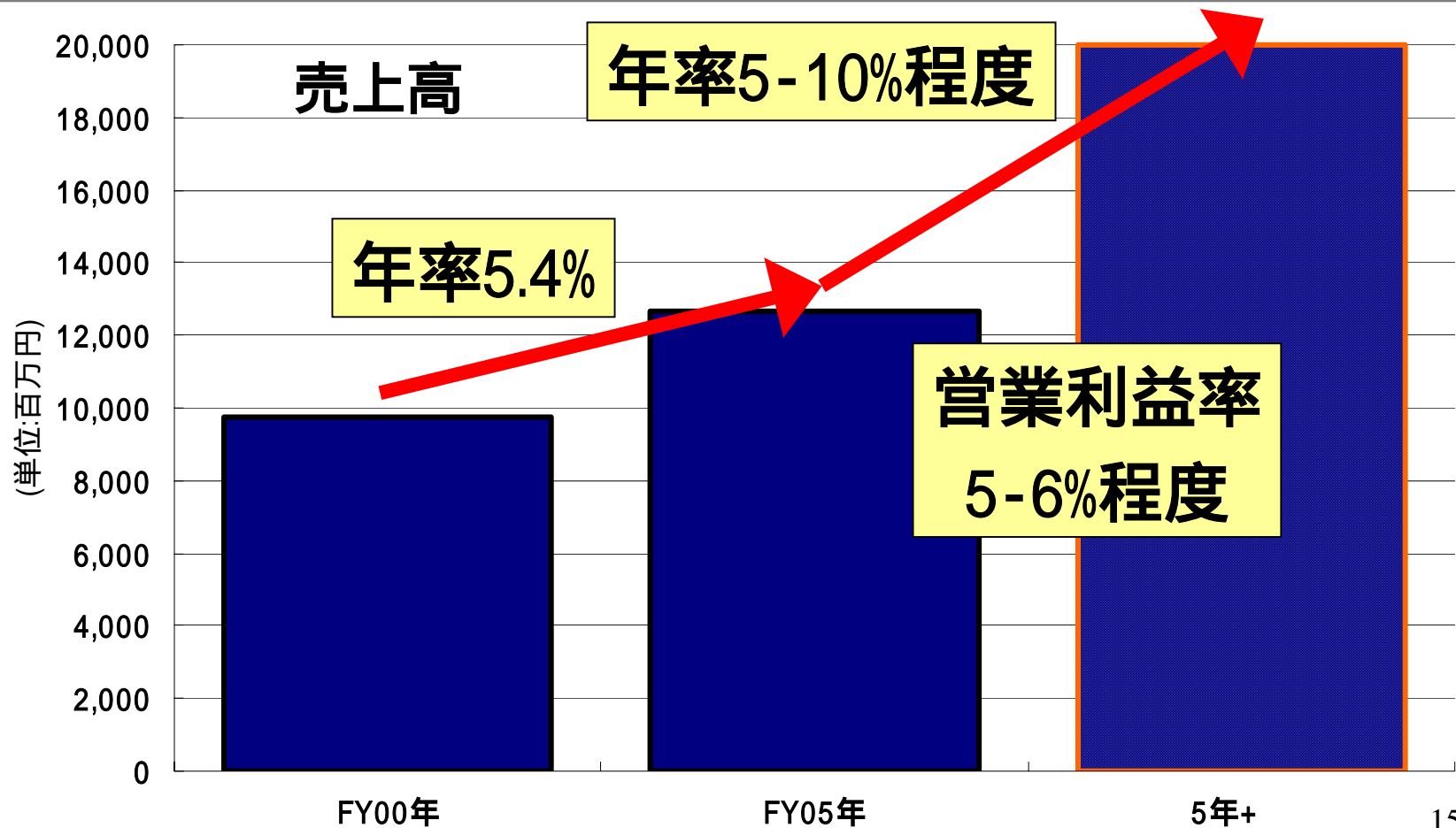


中長期的な方向性について

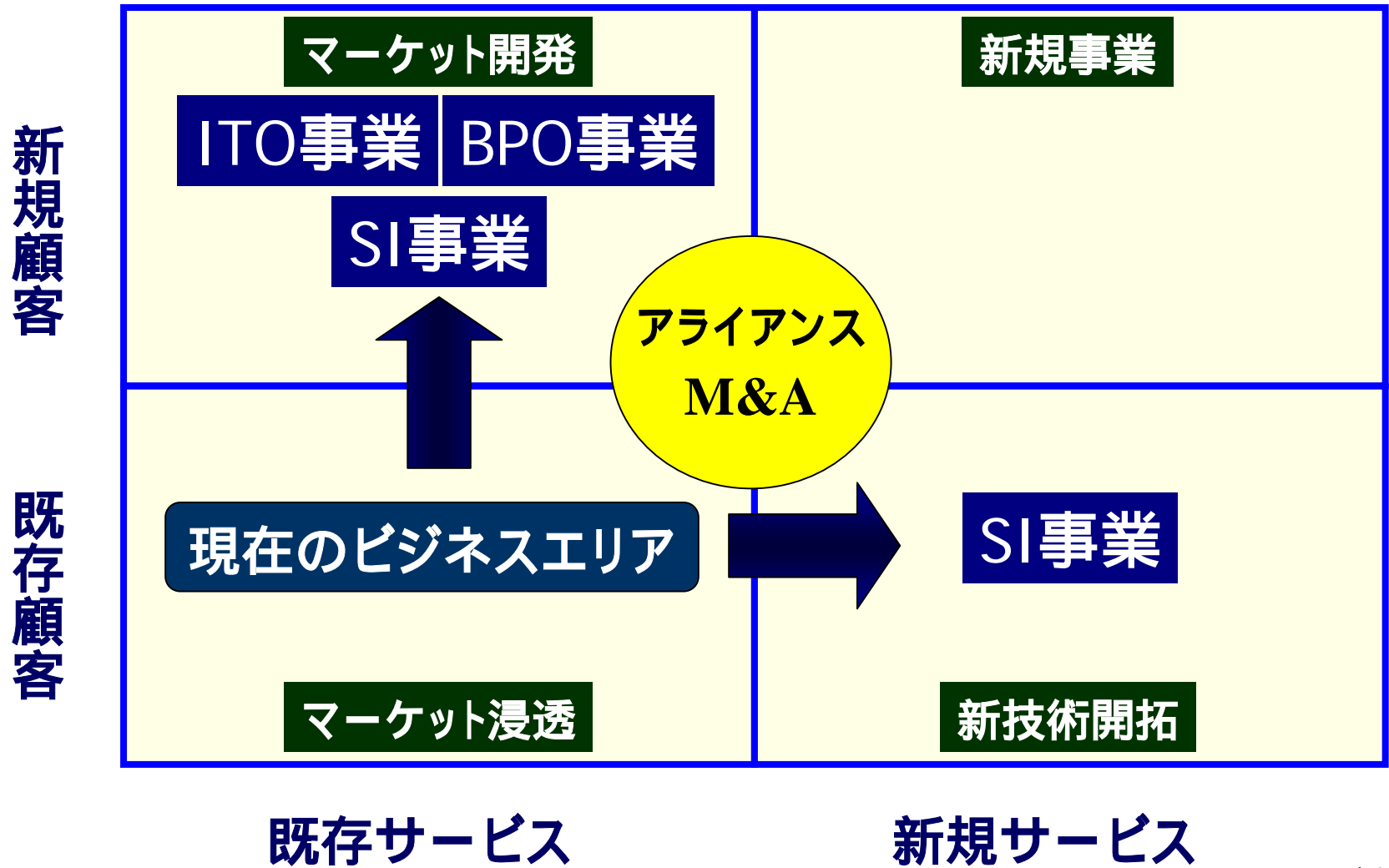
企業価値創造に向けて

- ITO(ITアウトソーシング)事業を安定的に伸ばしていきます
- パートナー(IBMなど)とのアライアンスによる新規顧客の獲得
- 人材の確保と育成

+ M&A



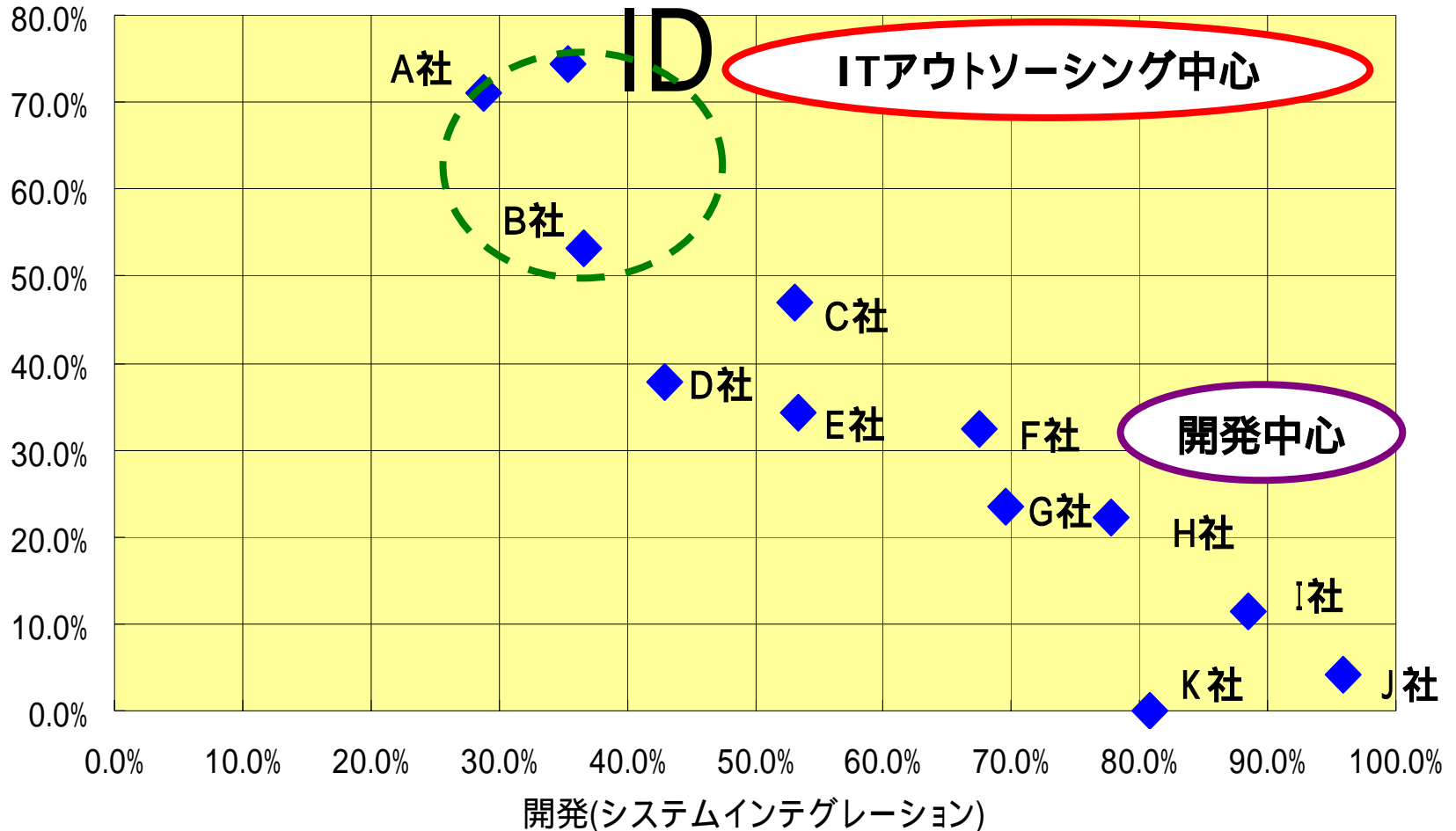
成長のステップです



ITマネジメントの強みを活かしていきます

2004年度の同業他社との「開発と運用の比率」の比較

運用(アウトソーシング)

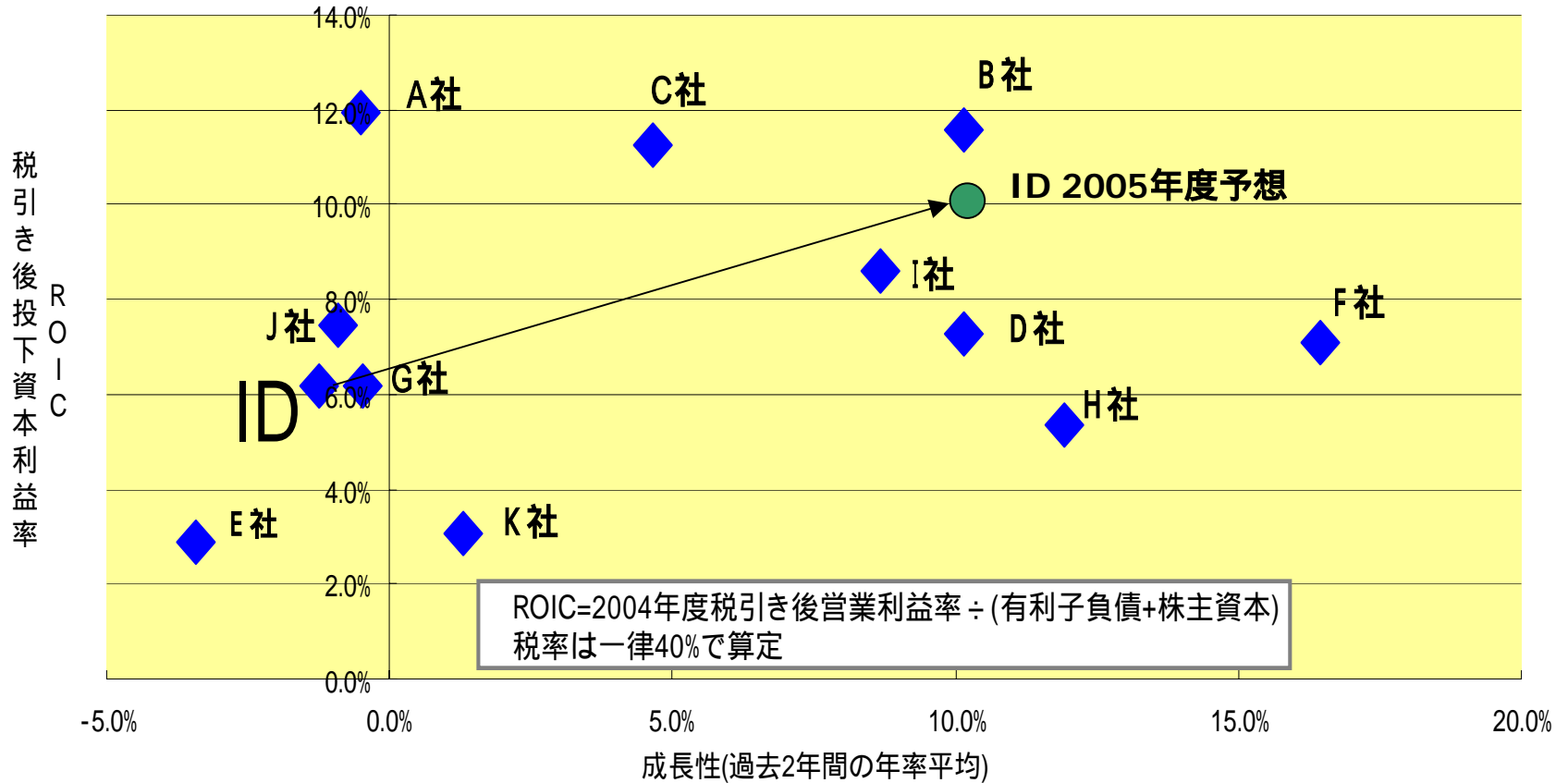


開発と運用以外の事業を行っている企業もあるため、
開発と運用の合計は100%にならないこともあります

出所: 各社資料より当社推定

着実な成長・安定した収益性を目指します

2004年度ベースの成長性と収益性

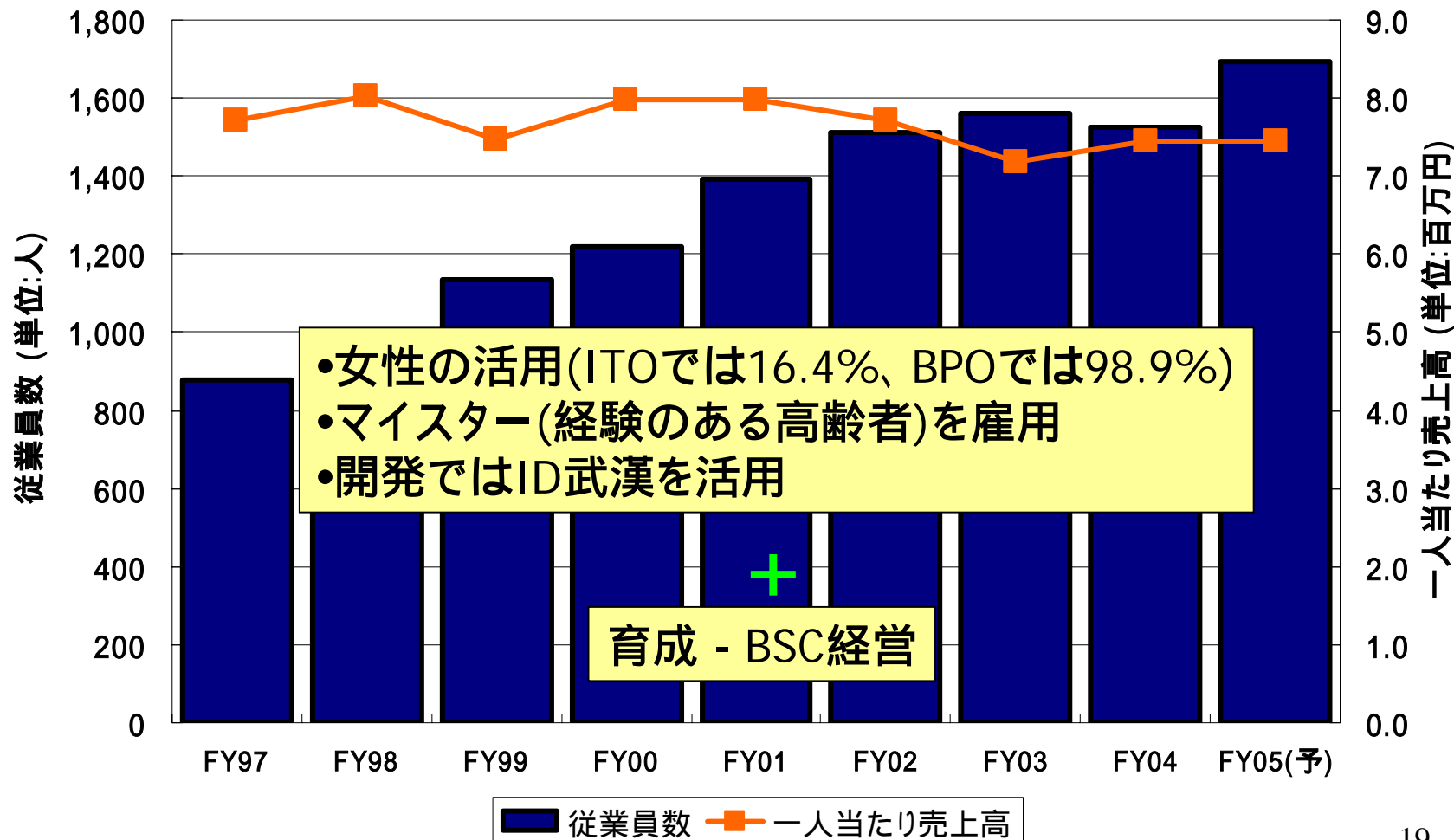


出所： 各社の2004年度決算短信より当社作成

人材の確保・育成が鍵となります

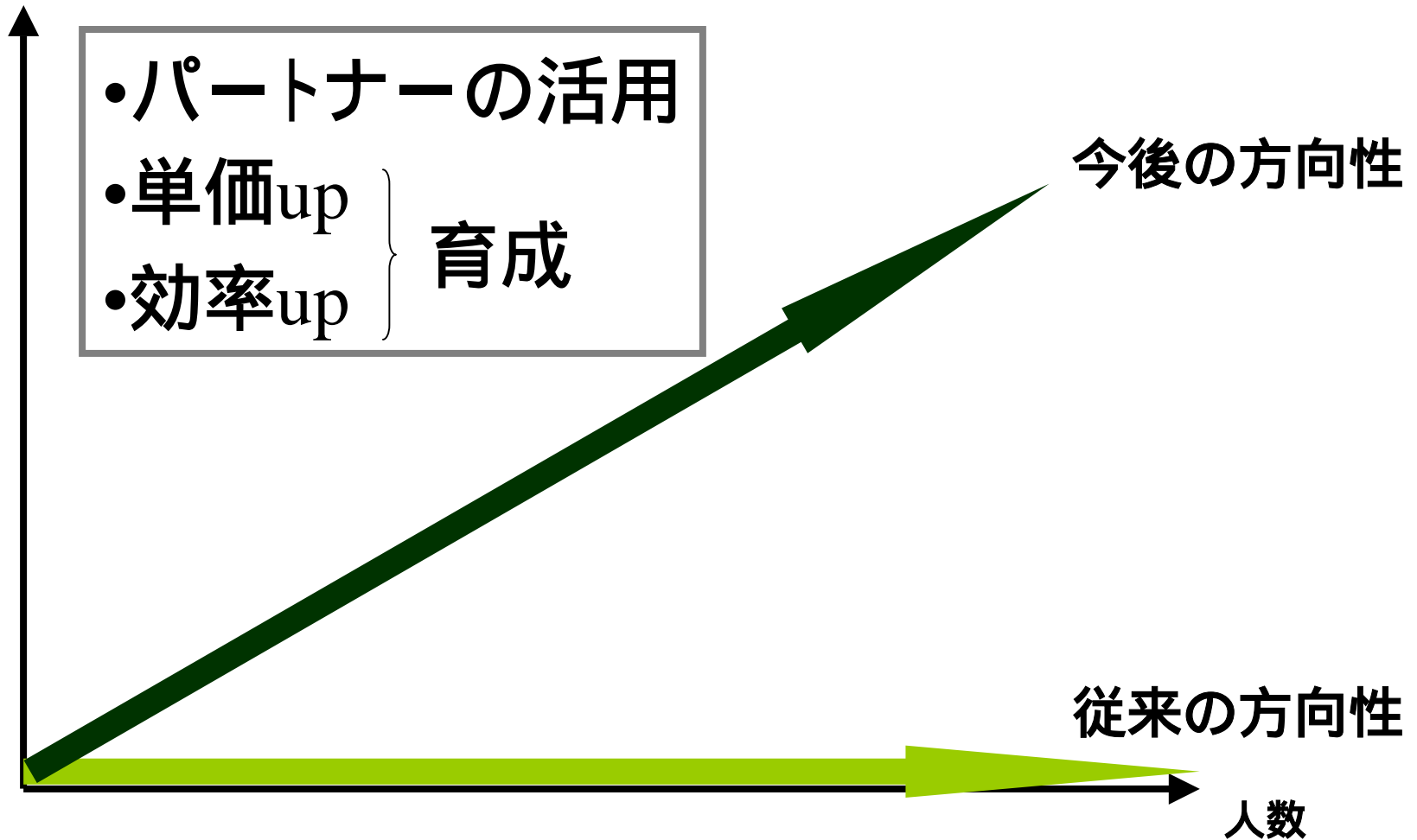
システム運営管理技術者:909人(業界トップ)

BPO(139人)は含めていません

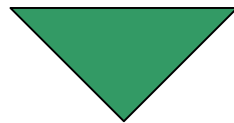


成長を実現するために

生産性(一人当たり売上高)



笑顔あふれワクワクする
未来のために、
私たちは情報サービス事業を通じて、
社会に貢献していきます。



CSR体制を構築して、企業価値を創造していきます

企画財務部 加藤 剛

TEL 03-3262-5177 (直通)

FAX 03-3264-3544

E-mail kato-t@idnet.co.jp

本プレゼンテーション資料には、株式会社インフォメーション・デベロプメントの業績、戦略、事業計画などに関する将来的予測を示す記述および資料が記載されております。

これらの将来的に予測に関する記述および資料は過去の事実ではなく、発表時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予測です。

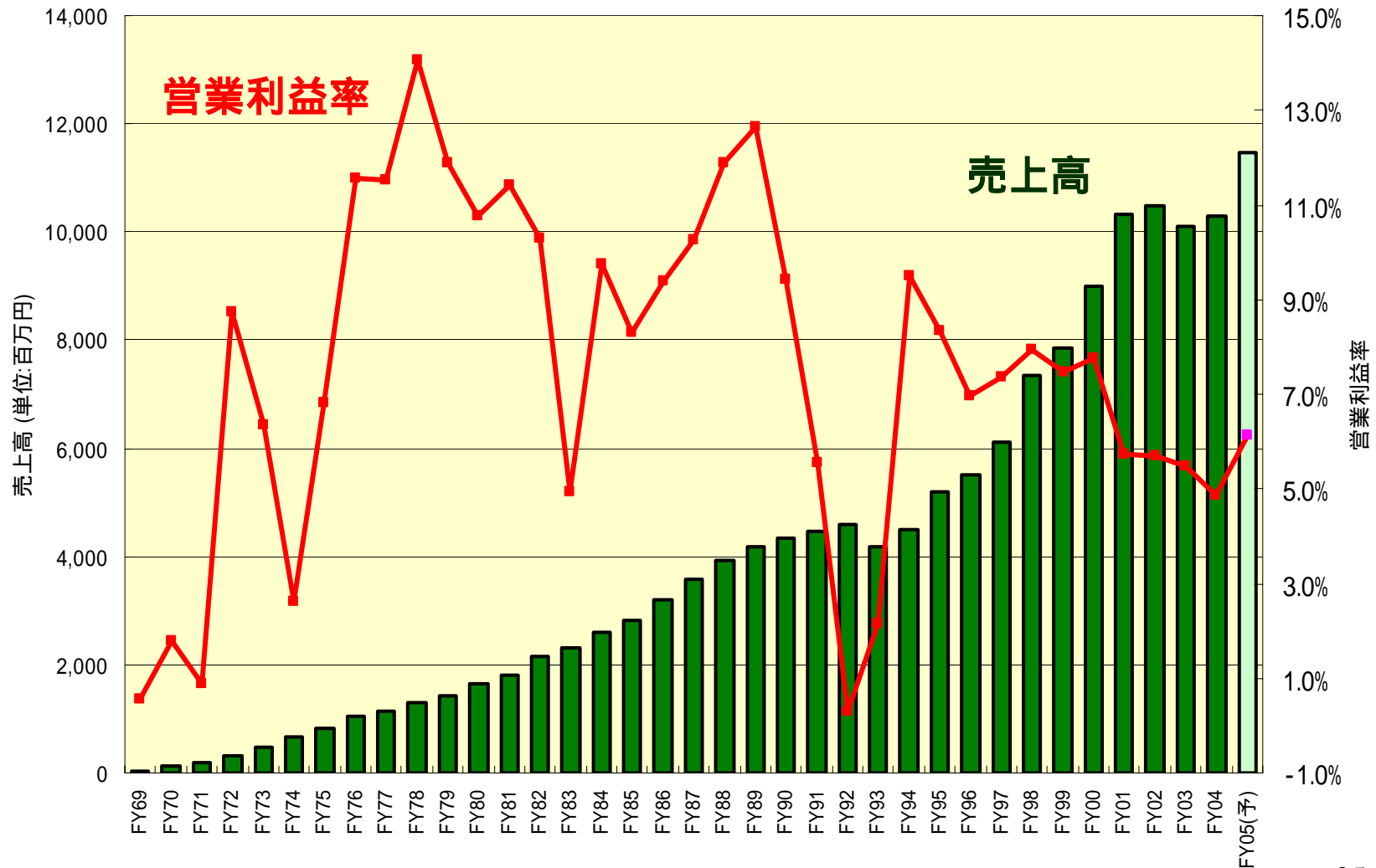
また経済動向、他社との競争状況などの潜在的リスクや不確実な原因も含まれています。その為、実際の業績、事業展開または財務状況は今後の経済動向、業界における競争、市場の需要、為替レート、その他の経済・社会・政治情勢などの様々な原因により、記述されている将来予測とは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おき下さい。

參考資料

当社の状況

創業時からの売上高と営業利益率の推移

創業時からの単体ベースの売上高と営業利益



当社の状況

4つの事業の性質

実績データ(過去)					今後の展開(将来)		市場情報(JISA統計) 情報サービス産業合計: 145,271億円		
2004年度売上			過去2 年平均	収益性/ 安定性	売上成長 イメージ	収益性/ 安定性	市場規模 2004年度 (億円)	構成比 (%)	前年比 (%)
金額 (億円)	構成比 (%)	成長率 (%)							
S I	40	35.4	1.3	/	成長回復 を期待	○/	受注ソフトウェア	46.7	102.2
							67,860		
I T O	46	40.5	11.9	○/	継続的な 成長	○/	ソフトウェアプロダクト	10.4	104.3
							15,067		
B P O	20	17.2	7.4	○/	継続的な 成長	○/○	情報処理サービス	16.8	98.7
							24,389		
そ の 他 *	8	7.0	21.7	/○	継続的な 成長	○/○	システム等管理運営	12.7	106.9
							15,067		
							データベースサービス	2.2	102.6
							上記業務の一部に 含む。		